

大学実習生派遣仲介プロジェクト ～村と若者を県が繋ぎ、“共村”を目指す～

宇都宮大学 中村祐司ゼミ
行政学研究室

高橋 隆浩 佐川 琴美 吉田 正絵 飯塚 瞳

Outline

- ▶ 1. 現地調査について
- ▶ 2. 共通する問題
- ▶ 3. 国中に巻き起こる変化
- ▶ 4. 新システムの提案



1. 現地調査

- ▶ 群馬県上野村
- ▶ 群馬県南牧村
- ▶ 神奈川県清川村



群馬県上野村

- ▶ 群馬県最少の人口1200人の村
- ▶ 固有の財源としてのダム
 - 固定資産税
 - 村の資源を利用した観光業に力を入れる
- ▶ 合併しなかった
 - 村役場の職員の負担が大きい



群馬県南牧村調査

- ▶ 日本で最も消滅可能性の高い村₁
1995年・・・人口約1万500人
現在・・・人口約2000人
- ▶ 「自然を活かし活気あふれた村づくり」
Iターン・Uターン者向けの雇用作り
子育て世代にターゲットを絞った空き家の誘致



<http://tukigataen.web.fc2.com/> (2015/11/30確認)

村だけの政策の限界



写真 南牧村 五十嵐さんと 2015/06/05 撮影

1「2014年11月7日(金)高齢化率日本一 群馬 南牧村はいま」

<http://www9.nhk.or.jp/nw9/marugoto/2014/11/1107.html> 2015年11月10日確認

神奈川県清川村

- ▶ 村の総面積89%は山林
全体が国定公園と県立公園に指定
- ▶ イルミネーション・ロケ地として活用
→メディアに多く取り上げられた
→インフラ整備の問題で大渋滞発生

村役場職員8人

観光・産業・金融・商業の業務を
請け負う



歌手のaiko横顔PV撮影地

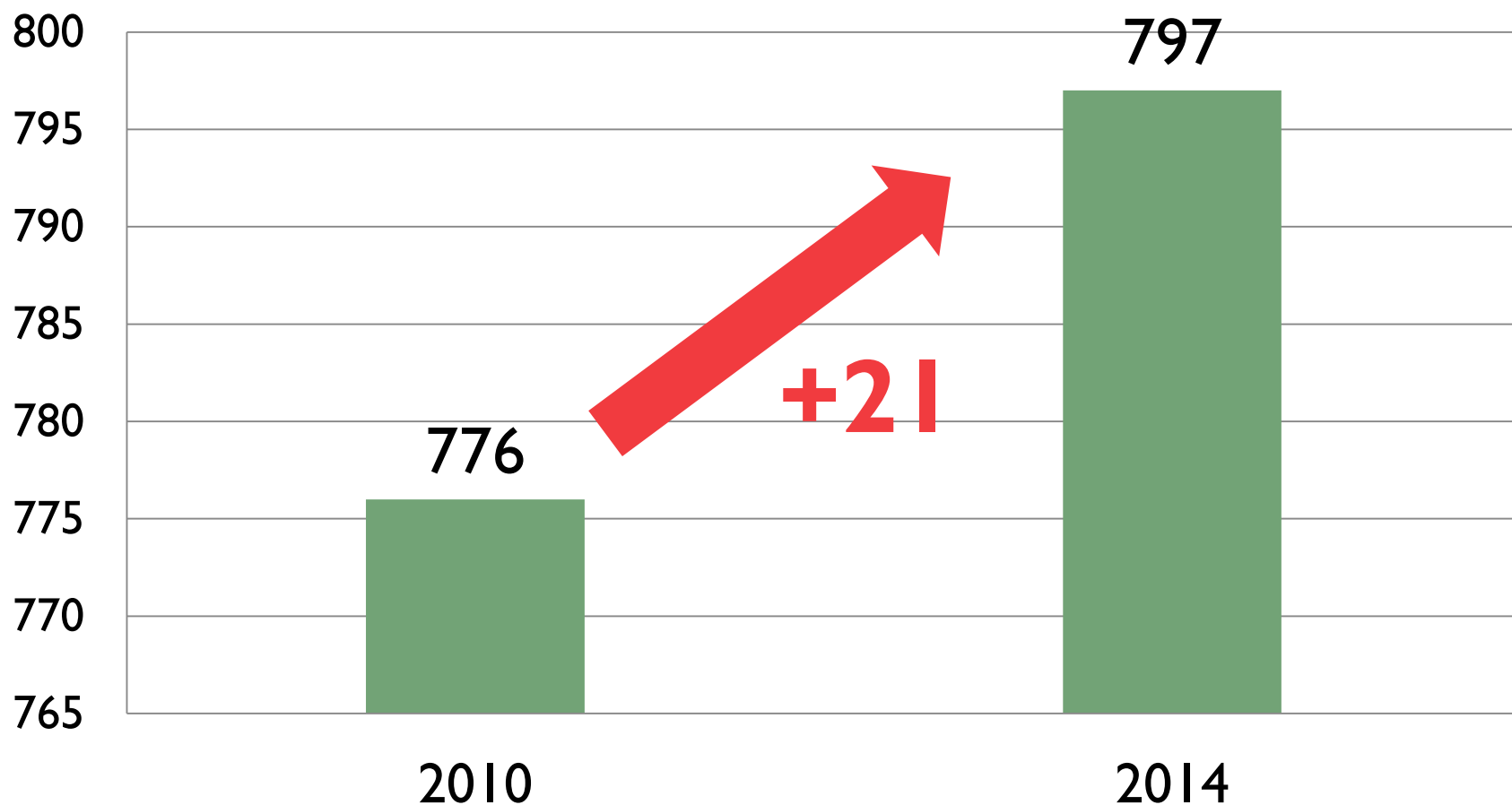


2.共通する問題



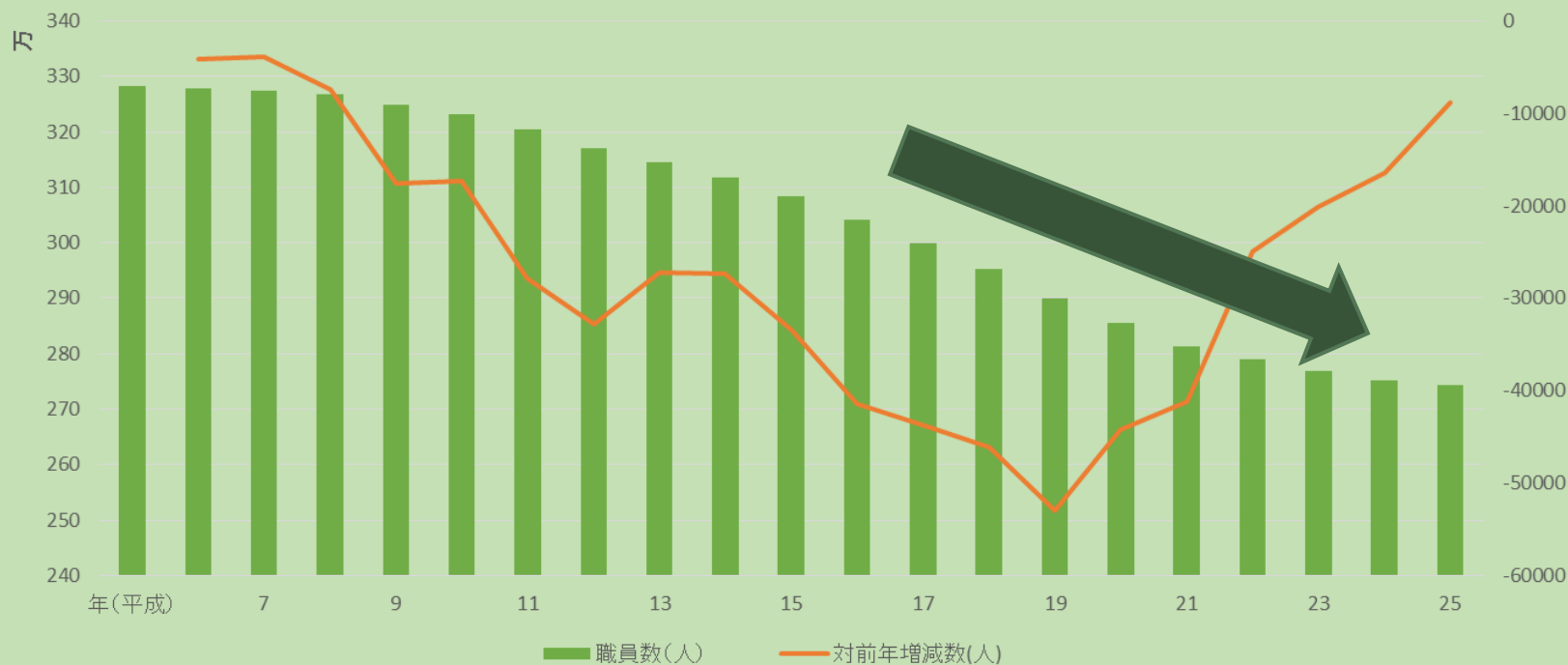
2-1.過疎自治体の増加

過疎自治体数



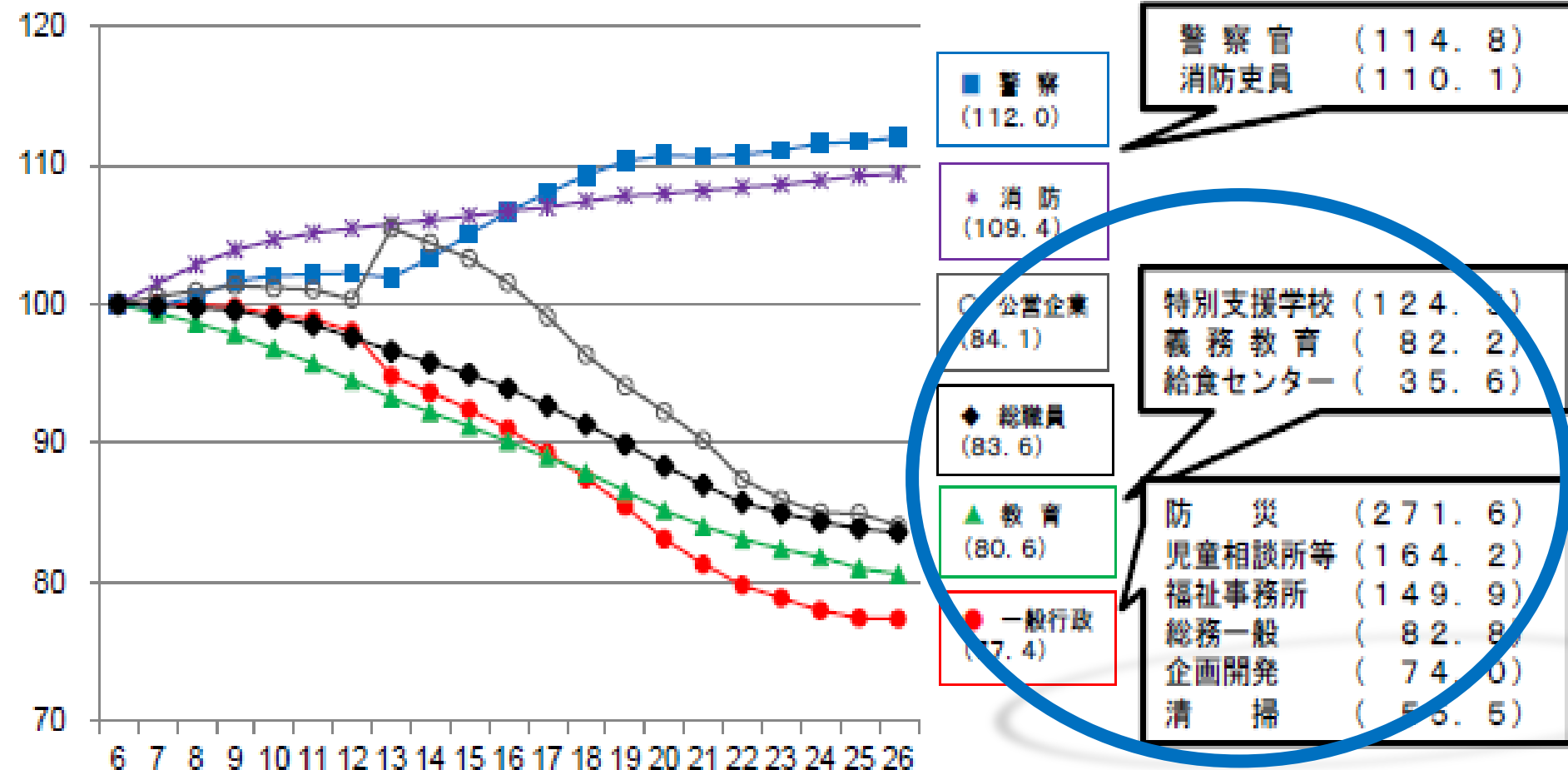
2-2.共通する問題（職員数の減少）

地方公務員 総職員数の増減



2-2.共通する問題（職員数の減少）

平成6年からの部門別職員数の推移（平成6年を100とした場合の指数）



2-3.職員減少の理由

- ▶ 全国の厳しい経済状況



- ▶ 2つの政策

1. 2005年（平成17年）

「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」

2. 2006年（平成18年）

「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」

村だけでなく、全国で **‘人不足’** が問題に！



3.全国で起こる変化

1. パートナーの多様化
2. 新しいセクターの登場
3. 若者の地域参画化



3-1. パートナーの多様化

- ▶ 県と市町村の連携強化
- ▶ 1. 高知県と高知市 「図書館の共同整備」¹
 - 建築費、運営費の削減
 - 市民の利便性向上
- ▶ 2. 愛媛県と管内市町 「行革甲子園」²
 - 取り組み拡散
 - 住民サービス向上

行革甲子園

高知市公式HP, 「新図書館等複合施設整備基本計画の決定について」, 2015.12.02確認

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/85/sinntosyokanntouhukugousisetuseibikihonnkeikakunoketteinituite.html>

愛媛県庁, 「行革甲子園」<http://www.pref.ehime.jp/h10800/shichoshinko/renkei/gyoukakukoushien.html> 2015.12.02確認

3-2.新しいセクター 「官民協働 PPP」

- PPPとは

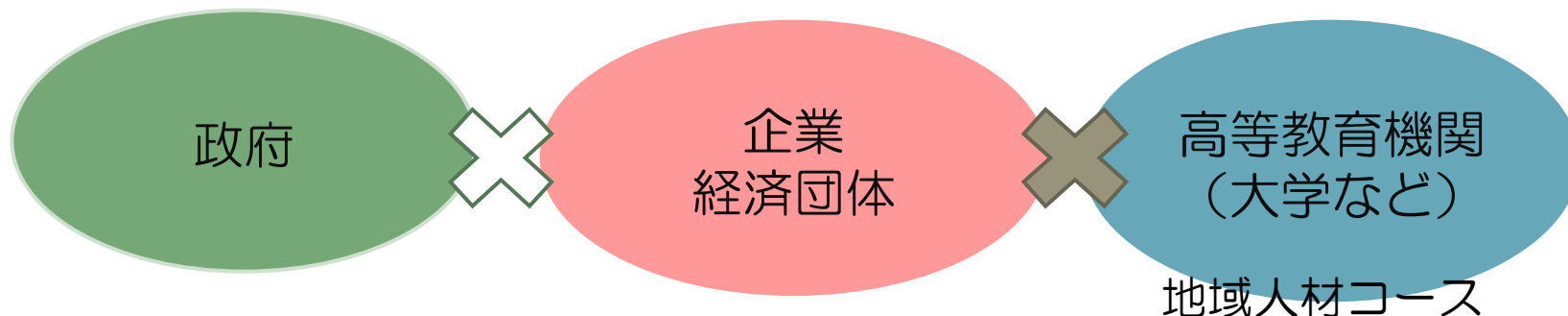
Public Private Partnership

官民のパートナーシップ（協働）による公共サービスの提供手法

PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等

- ▶ Ex.トビタテ！留学JAPAN

官民協働のもと社会総掛かりで取り組む
「留学促進キャンペーン」



3-3. 若者の地域参画化

▶ 地域おこし協力隊¹

	隊員数	実施自治体数	うち都道府県数	うち市町村数
平成21年度	89	31	1	30
平成22年度	257	90	2	88
平成23年度	47	3	3	144
平成24年度	207	3	3	204
平成25年度	978	318	4	314
平成26年度	1,511	444	7	437

3-3.若者の地域参画化

▶ 宇都宮市 大学生によるまちづくり提案

平成26年度 第11回までに
合計**127件**の提案

目的：学生ならではの視点やアイデアをま
ちづくりに活かしていくこと

大学生による
『まちづくり提案』
募 集

① 提案募集の趣旨
『皆様が暮らしたいまち「うつのみや」』

② 提案募集の対象
宇都宮市内にある大学及び大学校に所属する学生で構成するグループ

③ 募集要項
平成27年12月15日(金)に「まちづくり委員会」を開催

☆皆さんの提案が市の施策事業に1つ
いただいた提案は、市の施策事業に
応じて検討します。
市の事業に反映された主な提案は・・・

【宇都宮・カウヤルの家】(H18)
⇒【事業化】宇都宮 Gokkai IGemini vol.2008
【葛城】宇都宮カウヤル

「Enjoy Lively Sports in Happy Utsunomiya」
(H20)
⇒【事業化】葛城「ハッピー」@Sports
「オリオン通り」にシアタビネスの可能性
を模る (H22)
⇒【事業化】中心商店街活性化協議会事業

住めば
愉快だ
宇都宮

※詳しくは、宇都宮市のホームページをご覧ください。うつのみや事務局ホームページもご覧ください。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/machizukuri/shiseikenkyu/023333.html>

■ 提案内容：宇都宮市のまちづくりに関する
施策事業提案

■ 参加申込：平成27年6月26日(金) 必着

【問合せ先】宇都宮市役所 市政研究センター ☎ 632-2059

3-3(1).若者を取り込む 〈定住〉

▶ 島根県 平成23年

『ふるさと島根との「縁」でつながる定住対策〜』

「ジョブカフェしまね」「しまね学生登録」



3-3.(2) 若者を取り込む 〈移住〉

- ▶ 福井県 鯖江市体験移住事業「ゆるい移住」¹
福井県在住、出身以外の20～35歳くらいまでの若者
- ▶ 事前合宿 **19名**（平均年齢**29歳**）
- ▶ 体験移住者 **17名**

「ゆるい移住」は、
みなさんと一緒に未来の鯖江をつくるプロジェクトです。

鯖江市長 牧野百男

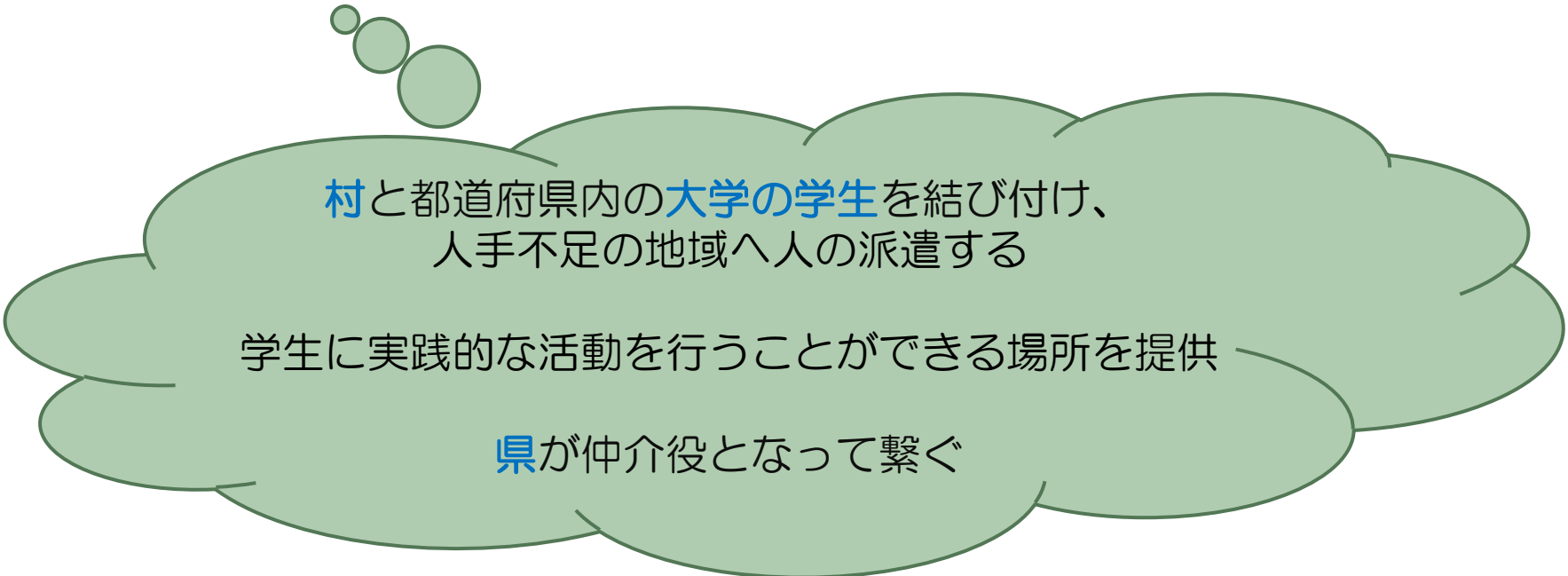
3-3. まとめ

- ▶ 職員の減少
- ▶ 県と市町村との連携強化
- ▶ 新しいセクターとの連携
- ▶ 若者を取り入れる傾向
- ▶ 自分で考えて実践する若者の増加



4-1.新システムの提案

大学実習生派遣仲介プロジェクト
～村と若者を県が繋ぎ**共村**（きょうそん）を目指す～

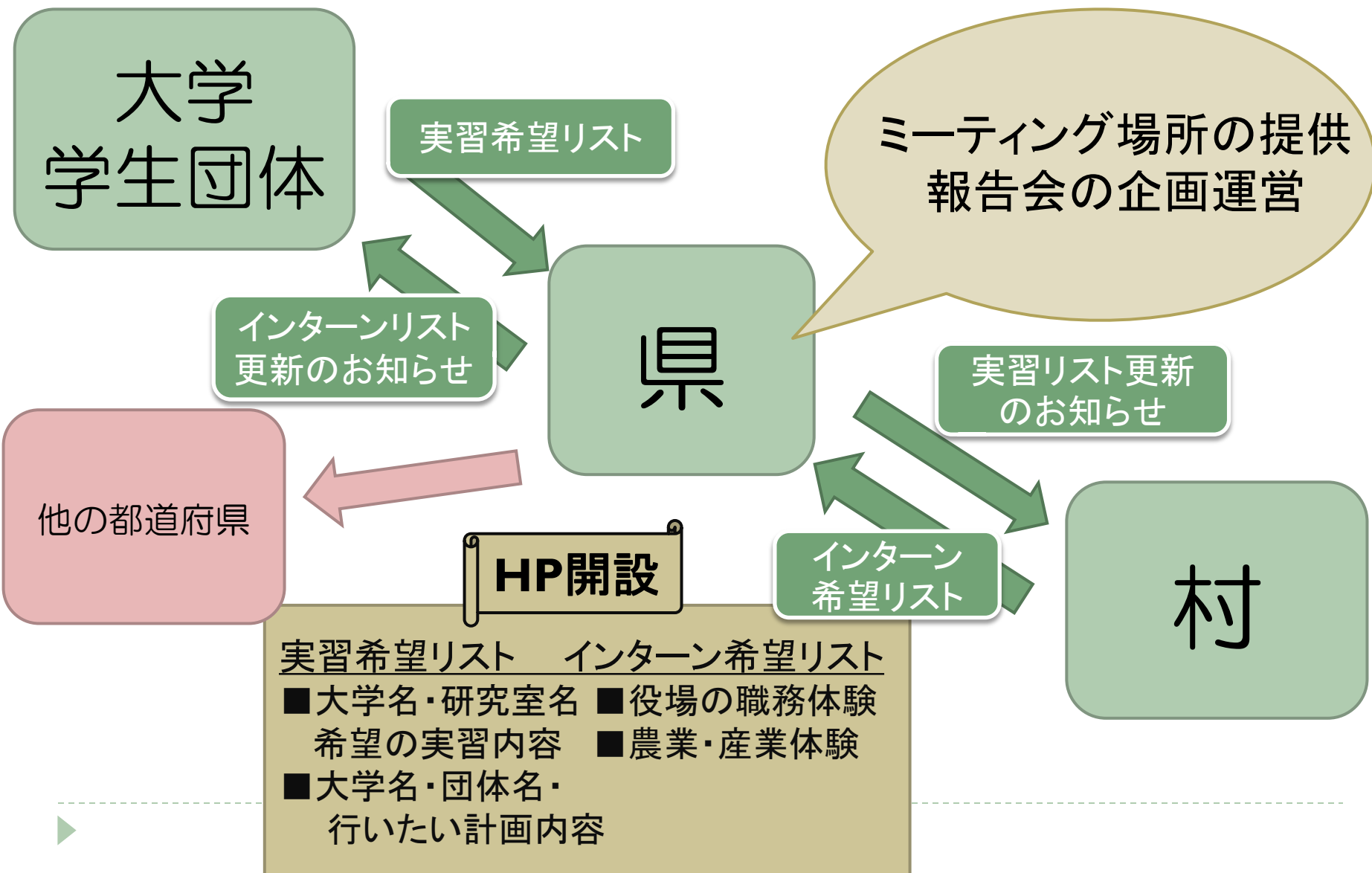


村と都道府県内の**大学の学生**を結び付け、
人手不足の地域へ人の派遣する

学生に実践的な活動を行うことができる場所を提供

県が仲介役となって繋ぐ

4-2.新システム



4-4.村へのメリット

新しい事業
の展開

人件費削減

村の知名度
UP



4-4.大学・学生団体のメリット

実践的な
実験

実習先が
増える

実習の幅
が広がる

村の活性
化に貢献



4-4.県へのメリット

村に密着
して活動

愛着が湧く

若者定住化

4-5.このシステムへの願い

- ▶ 地方に大学生が訪れる
- ▶ 実践的な研究を行うことができる
- ▶ 村の魅力や過疎地域活性化に興味を持つ機会増加

村の人口不足を補う
日本の過疎地域問題解決



▶ ご清聴ありがとうございました。

